

(3) 循環型経済への対応（水資源の有効活用、廃棄物削減など）

①水資源の有効活用

本投資法人及び本資産運用会社では、水資源の効率的な利用推進を図るため、節水や中水・雨水の再利用等により水使用量の削減に努めています。

保有物件における節水事例

- 使用状況に応じて洗浄水量を調整するAI搭載の小便器の使用
- 洗浄水量6Lの超節水型大便器の使用
- 洗浄水への雨水の活用
- 洗面台自動水栓の採用



実績

本投資法人の保有物件の水使用量の実績値は以下の通りです。（注1）（注2）

	使用量(千㎡)	原単位(㎡)
2022年	401	0.96
うち、地下鉄湧水及び雨水等を除く	394	0.94
2023年	435	1.02
うち、地下鉄湧水及び雨水等を除く	429	1.01
2024年 ^(注3)	494	1.13
うち、地下鉄湧水及び雨水等を除く	✓488	✓1.12

（注1） 算出に当たり、各年の対象物件の範囲は、以下のとおりです。

- ・ 本投資法人が保有している全物件（対象期間中に取得・売却した物件を含む）を対象としています。
- ・ 本投資法人が共有持分を保有する物件については、本投資法人が保有する期間の、共有持分に相当する数値をもとに算出しています。

（注2） 過去データの追加取得等に伴い、2022年より遡って水使用量の修正を行っています。今後、過去の実績値については、データの追加取得等に伴い、過去に遡って修正する場合があります。

（注3） 2024年の実績値（✓）については、EY新日本有限責任監査法人による限定的保証を受けております。

なお、地下鉄湧出水及び雨水等は含みません。

②廃棄物削減

本投資法人及び本資産運用会社では、テナントへの啓蒙活動等を実施することで廃棄物の削減に努めています。

保有物件または本資産運用会社における廃棄物削減事例

- ペーパーレス化の推進
- 紙類・缶類・ペットボトルなどの回収ボックスの設置等、リサイクルを推進する取組みの実施
- 自治体の定める条例・要綱等の指標に則した計画（再利用計画書等）の適切な作成・実施（PM・ビルマネジメント会社（以下「BM」といいます。）等と協働）



3R啓蒙ポスターをデジタルサイネージに掲示

実績

本投資法人の保有物件の廃棄物量の実績値は以下の通りです。（注1）（注2）（注3）（注4）

	廃棄物量（t）
2023年	2,947
2024年	✓3,827

- （注1） 算出に当たり、各年の対象物件の範囲は、以下のとおりです。
- ・本投資法人が保有している全物件（対象期間中に取得・売却した物件を含む）を対象としています。（データの入手が可能な物件に限ります。）
 - ・本投資法人が共有持分を保有する物件については、本投資法人が保有する期間の、共有持分に相当する数値をもとに算出しています。
- （注2） 2024年の実績値（✓）についてはEY新日本有限責任監査法人による限定的保証を受けております。
- （注3） 2023年から2024年の実績の変動は、主に物件数の増加やデータの入手範囲の拡大等によるものです。
- （注4） 過去データの追加取得等に伴い、2023年より遡って廃棄物量の修正を行っています。今後、過去の実績値については、データの追加取得等に伴い、過去に遡って修正する場合があります。